

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3271100434		
法人名	社会福祉法人 かしま福祉会		
事業所名	グループホームあともむ苑		
所在地	島根県松江市鹿島町北講武885番地6		
自己評価作成日	平成23年2月9日	評価結果市町村受理日	平成23年4月28日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://nllp-77/kounyuu-6.tukushii-shimane.or.jp/kaigoin/informationPublic.do?JCD=3271100434&SC
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPOLまね介護ネット
所在地	島根県松江市白潟本町43番地
訪問調査日	平成23年2月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

【理念—ゆつくり ゆったり おだやかで心が落ち着き 家庭的で安心できる生活をお届けします】
併設施設との連携があり、柔軟な体制で継続したケアが行えます。
また 敷地内には温泉施設や公園があり、豊かな自然に囲まれ充実した環境の中で過ごしていただくことができます。
職員は利用者様に健康で安心できる毎日を送っていただけるよう、日々話し合いながらより良いケアに努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

日常的に苑内の散歩を行い、利用者のペースでの生活の支援を心がけている。これまでに
看取りの事例があるが、現在もターミナルに近い利用者のケアを行い、家族から「最期まで
ホームで」という希望があれば医療機関と連携をとりながら対応したいと考えている。同じ法
人の特老やデイサービスとの協力体制があり、災害、緊急時の連携が取られている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆつたりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を玄関やホールに掲示し 常に頭に入れて日々のケアに取り組んでいる	理念を玄関やホールに掲げ、職員は日々理念を意識しながら実践に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事に参加したり 事業所の祭りに地域の人のボランティアをお願いしたりと交流を増やしている	地域行事への参加や園児、児童との交流を行っている。中学生の体験学習やボランティアの受け入れ、事業所の行事に地域の方を招くなど交流を拡げつつある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	「広報誌」を公民館等に置いて 地域の人に読んでいただいている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に開催し 貴重な意見をいただき参考にしている	以前は年2、3回の開催だったが、会議の意義を踏まえ、2ヶ月に1回開催している。参加メンバーも利用者、家族、地域の方など拡がり、参加者の意見を事業所の運営に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に出席していただいたり わからないことを聞いたり 相談に乗ってもらって協力関係を築くように心がけている	日頃から事業所の状況を報告したり、わからない事の相談をしている。運営推進会議の議題についてアドバイスを貰った事もある。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員で話し合い 身体拘束における共通認識を持つようにしている さりげない見守りを心がけ できるだけ玄関の鍵をかけない支援をしている	管理者が「権利擁護」の研修を受け、職員に伝達講習を行ったり、身体拘束の共通理解を深めるために話し合いを行っている。玄関は出来るだけ施錠しないように見守りをしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルがあり 職員全員が周知している 入浴時には 身体観察を行うようにしている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員研修に参加して 学ぶ機会を持っている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前に十分に説明をして 理解、納得いただいた上で 契約を交わしている 入所後も 疑問、不安等がないか注意している		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口を設けている そのほかにも面会や電話で 利用者、家族からの意見を聞いて 内容、対応策を職員全員に周知するようにしている	家族の面会時や電話での報告の際に意見を聞くようにしている。利用者の気持ちを家族から聞く事もあり、記録で情報を共有し、ケアに反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からの意見は「介護会」「主任会」等を通して法人にも報告し 反映できるようにしている	月1回の「介護会」で意見を出し合い、「主任会」で取り上げ、更に「職員会議」で意見交換をしている。法人代表者は普段から職員の意見や提案を聞く姿勢を持っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人全体で資格取得の支援に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	段階に応じた研修を受けられるようにしている 研修報告は 法人職員全体で回覧している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者に限らず グループホーム部会の勉強会に参加したり 他事業所を見学する機会を作っている		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	契約前に見学に来ていただいたり 面接をして話を聞く機会を作っている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約前に見学に来ていただいたり 面接をして話を聞く機会を作っている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面接等で本人、家族の思いや希望を聞きながら 対応している		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として敬う気持ちを忘れないで接するよう 心がけている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の思いを受け止めながら 家族にできる役割を考え工夫している		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染み深い場所に行ったり 人に会ったりする機会を設けている	利用者の「〇〇に行きたい」という希望を実現させたり、家族と墓参りに行くなどしている。兄弟が泊られることもある。昔馴染みでデイサービスや特老を利用している方に面会に行くこともある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立しないように 席やグループ分けの配慮を行っている 職員が仲介に入り、より良い関係が築けるよう努めている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了した人の見舞いや面会に行っている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者との日常の会話やつぶやきの中で得た情報を記録に残し職員間で共有している	職員は利用者の会話やつぶやきから思いを引き出す努力をし、記録に残し、共有してケアに取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族、本人から情報を得て記録に残すようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々に「できること」「できないこと」の把握に努め「できること」への支援を心がけている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議 カンファレンス 面会等で各関係者と意見交換をしながら介護計画を作成している	利用者の生活歴を把握し、家族の要望を取り入れて作成している。居室担当者も会議に出席し、介護記録を参考に3ヶ月に1回見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録 介護日誌等担当者を中心に記入している また、記入の仕方 記録用紙の検討を都度行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設施設との連携を取っている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	保育所 小学校との交流をしている 中学生の職場体験等の受け入れをしている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームドクター制を取っている 入所時に本人 家族の希望を聞きながら主治医を決定している	かかりつけ医は家族の了承を得て協力医療機関となっている。週1回の往診があり、いつでも相談、対応が出来る体制になっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間体制で連絡 相談できる看護職がおり、常に利用者の状況を報告している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中も病棟の看護師から様子を聞いたり主治医を通して病状を聞く等 情報を得て、職員間で共有している		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時から本人 家族に意向を聞くようにしている 重度化した利用者については 主治医との連携を図り 方針を共有している	ホームでの看取りの事例があり、現在ターミナルに近い利用者のケアを行っている。入居時「事前確認書」を交わしている。事業所は、家族の希望を尊重し対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当普及員の資格を持っている職員がいる また、医療従事者から日常的に指導を受けている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回 避難訓練を実施している	年2回、避難訓練を日中、夜間を想定し、消防署の指導のもとに利用者と一緒にしている。	地域の方との協力体制や、火災だけでなく、あらゆる災害を想定し、対策を検討していただきたい。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	記録物は守秘義務を徹底し 取り扱いも充分に配慮している 言葉かけや対応にも気をつけている	排泄や入浴の際、さりげない言葉掛けや対応で利用者のプライバシーを損ねない様にしている。職員の気になる言葉や対応があれば、管理者が注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者個々に合わせた声かけや接し方をして 自己決定ができるように働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	「ゆっくりゆったり」を基本にして 個々の生活ペースに合わせて 希望を聞きながら過ごしていただいている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日 化粧をされる利用者がある 利用者個々の希望を聞きながら 身だしなみやおしゃれの支援を行っている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けを利用者と一緒に行っている	出来る方と一緒に盛り付け、後片付けをしている。昼・夕食は外部委託だが、オヤツは利用者で作っている。誕生日メニューで希望を聞いたり、和やかな会話で食事が楽しみになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	必要時には食事量 水分量をチェックして その人に合った必要量が摂取できるように支援している 食事形態も都度見直しをしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアは 個々の状況に合わせて支援している 口腔内の病気の発見や 義歯の状態もチェックしている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し 可能な限りトイレでの排泄を行っていただくよう支援している	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、声掛け、誘導をしている。職員会議で話し合い、ケア計画を共有し、オムツを外した事例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排便状況を記録している すぐに下剤に頼らず 飲食物の工夫や運動を働きかけている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	その日の気分や体調に合わせて 変更することもある 季節ごとに「ゆず湯」「菖蒲湯」等にして 入浴を楽しんでいただいている	基本的には週3回の入浴支援をしている。一人ひとりに沿って時間やタイミングを見計らって声掛けをしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活リズムを掴み 体調を考えながら できるだけ日中の活動を促して 夜間に安眠できるように支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに処方箋を綴り 常に内容を確認できるようにしている 薬の変更がある時には申し送り 様子を観察・記録するようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれの生活歴に合わせた楽しみ 役割を持っていただくようにしている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候 体調に合わせて苑外を散歩したり ドライブや買い物外出をしている また、家族と一緒に食事や 墓参等の外出も支援している	園内の散歩を日常的に行っている。利用者の希望を聞き、やや遠方へのドライブや、弁当持参での行事計画を立てている。家族との外食、墓参りなど支援している。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人 家族の希望に合わせて対応している 買い物の時は自分で品物を選び 自分でお金を支払う機会を作るようにしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	可能な限り自分で手紙を書いていただき それが難しい方には代筆をして 家族の繋がりを大切にしている また、職員が取り次ぎ 電話もしていただいている		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は特に清掃に気を配り 季節の花や手作り品等を飾って環境を整え 気持ち良く過ごせるように工夫している	季節の花や雛人形を飾り安らぎのある環境作りをしている。利用者は食後も自分の居場所で談笑したり、好きなことをして過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやイスの配置を 利用者の状況に合わせて変えるようにしている 冬場はホールの和室にこたつを用意している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物を持ってきていただくようにしている 家族の写真 手作り品 季節の花等を飾って 親しみ深い雰囲気の中で生活していただけるよう努めている	利用者の希望に合わせ、畳、フローリングの部屋を用意している。居室には炬燵や家族の持ち込まれた花などが置かれている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	浴室 居室には手すりが設置してあり ベッドやタンスの配置も個々のADLに合わせて工夫している 生活の中で 個々の「できること」「わかること」を活かした仕事をしていただいている		